



The市議会

ザ・シギカイ

商品券・小児一次救急	2
委員会レポート	4
一般質問	7
市議会モニターほか	13

Vol.66

2022.8



市議会フェイスブック



市議会ホームページ



商品券（スマイルチケット）発行事業

- 新型コロナウイルス感染症の影響、原油価格や物価の高騰に鑑み、市民生活を支援し地域の消費を喚起するために商品券（スマイルチケット）を発行します。

✓ 対象者・金額

住民基本台帳に登録されている市民及び山口東京理科大学生に、1人500円×10枚のスマイルチケットを配布します。

✓ スマイルチケットの種類・取扱店

専用券6枚（3000円分）は、取扱店のうち市内の飲食店、小規模事業者、タクシー事業者で使用できます。

共通券4枚（2000円分）は、取扱店全店で使用できます。

✓ スケジュール

8月頃からスマイルチケットを郵送して、使用期限は令和5年2月末を予定しています。

✓ 総事業費

総事業費は3億1700万円です。国からの臨時交付金約1億9000万円が充当され、残りは一般会計から支出します。



主な質疑

- Q** 印刷は、地元業者でできないのですか。
- A** 商品券改ざん偽造防止の措置を取っており、市内業者では大変時間がかかるため、大手の印刷業者に発注しています。
- Q** 配布に関する第2回目のアンケート調査結果において、経済効果についての評価はどうでしたか。
- A** 「顧客数の変化がありましたか」の問いに50%は変化なし、40%は幾らか増えたという回答がありました。逆に、減ったというものはわずかでしたので、効果はあると考えています。
- Q** 市民への配達は、どのような方法で行われるのですか。
- A** 前回と同じく、郵送します。
- Q** 取扱店から1カ月間に3回の換金日では少ないという申し出はありましたか。
- A** 換金日が少ないということはありました。換金日については、銀行も通常業務と重なり難しいと言われましたが、今年も金融機関と協議します。
- Q** 住民基本台帳に登録されている方が、配達時に転出している場合はどう対応するのですか。
- A** 基準日（6月1日）には山陽小野田市におられて、その後転出された方には住民基本台帳等で確認を取り、新しい住所先に送るなどの対応は行っています。

10月1日から小児の救急医療体制が変わります

【市急患診療所条例の一部改正】

- 現在、市内には4人の小児科医がいますが、医師の高齢化が進み、今後、市急患診療所の業務体制の維持が困難となります。
- 小児一次救急のみ宇部市休日・夜間救急診療所で広域対応するために条例の改正を行うものです。
- 広域化によって、宇部市から11人、山陽小野田市から2人、山口大学医学部附属病院から数人が輪番で業務を行うこととなります。



主な質疑

- Q** 1日当たりの利用者数は何人ですか。
- A** 令和2年度が7.8人、令和3年度が9.8人です。
- Q** 市民にとってメリットとデメリットは何ですか。
- A** 宇部市の救急診療所までの距離が遠くなりますが、平日と土曜の夜間が加わり、レントゲンや簡易な血液検査などを受けることが可能となります。
- Q** 市民への周知はどうするのですか。
- A** 市広報やホームページに掲載し、市急患診療所クリニック等にチラシを掲示するなど周知を徹底します。

小児の一次救急体制

		現在		令和4年10月以降
急患診療所の場所		山陽小野田市急患診療所		宇部市休日・夜間救急診療所
平日	日中	開業医		開業医
	夜間			休日・夜間救急診療所 19時半～23時 (木のみ開始が18時)
	深夜～朝			
土曜日	日中	開業医		開業医
	夜間			休日・夜間救急診療所 18～23時
	深夜～朝			
休日	日中	急患診療所 9～12時 13～17時		休日・夜間救急診療所 9～12時 13～17時
	夜間			小児科当番医 19時～22時
	深夜～朝			

市役所本庁舎の備品購入費用

概要 市役所本庁舎の内装改修に併せて、来庁者の利便性向上及び職員の執務環境改善を目的として、老朽化した机、椅子、キャビネット等を更新・整備する事業です。備品の購入予定価格は、令和4年度が1512万5000円、令和5年度が1985万5000円です。

予算額 3498万円

主な質疑

- Q** 災害時の対応は考慮していますか。
- A** 災害時の避難対応については、このたびの環境改善とは別に、今後内装改修時に検討していきます。
- Q** SDGs・カーボンニュートラルへの配慮はしていますか。
- A** 購入する備品の中には、グリーン購入法に適合して環境に優しい商品で、エコマークが付いているものも含まれています。

Q 購入先業者の選定で、公募型プロポーザルを採用した理由は何ですか。

A 内装改修を段階的に実施するため、移転作業や備品の納品、撤去等を円滑に行うことができるよう実績や提案力を総合的に判断する必要があったためです。

Q プロポーザルの要件と評価基準はどうなっていますか。

A プロポーザルを公募するに当たり、購入先が市内業者ではない場合でも、市内業者を協力事業者とすることを要件としました。また、評価基準については、商品の規格、サイズを指定して、移転作業や備品の納品、撤去等の一連の流れを円滑に行うことができる要件に即した提案となっているかで評価しました。

公園通出張所を須恵地域交流センターに移転へ

概要 令和4年7月から商工センターの解体を行う予定としており、商工センター内に設置している公園通出張所を6月下旬に須恵地域交流センターに移転します。このために、駐車場の拡張及び交流室の改修を行います。

主な改修内容として、須恵地域交流センターの駐車場は不足しており、公園通出張所の移転による利用者増加によってさらに不足が生じることが予測されるため、32台の駐車台数を12台増やし、44台に拡張改修工事を行う予定です。

須恵地域交流センター内の団体企画室に公園通出張所を移転します。当団体企画室の代替の部屋として、交流室に取り外し可能な仕切り壁を設置し分割することにより、効率的な運用ができる環境整備等を行う予定です。

予算額 1049万5000円

主な質疑

Q 交流室分割は地域からの要望書に沿ったものになっていますか。

A 地域の意見に沿ったものになっています。

Q 交流室全体を使用した場合、値上げになりますが地域から了承されていますか。

A 全体を利用する必要性があると思われる人数の団体は、ほとんどのケースが使用料の減免団体です。ご理解いただければと思います。



高泊地区でデマンド型交通を実証運行

●高泊地区デマンド型交通運営事業

概要 マイカーを利用できない方が、買物や通院等の日常生活において、既存のバス路線ではカバーできない場所への移動手段を確保できるようにするものです。

プロポーザルにより業者を選定し、10月から来年9月まで実証運行をします。住民ニーズや課題をしっかりと把握した後に、来年10月以降の運行に反映させます。

月・水・金曜日に1日7便(9時台、10時台、11時台、12時台、13時台、14時台、15時台)で予約運行し、自治会ごとに乗降場所を設定します。乗車賃は1回300円で回数券もあり、子供や障害者には割引制度を導入予定です。

予算額 420万円



広報特別委員会

FM スマイルウェ〜ブ「ピックアップ!さんようおのだ」

山陽小野田市のコミュニティーFM「スマイルウェ〜ブ」、周波数は**89.7MHz**。ラジオだけでなくスマートフォンやパソコンなどを使って、全国どこからでも聴くことができます。

毎週木曜日の12時から「ピックアップ!さんようおのだ」のコーナーがあり、市政情報の発信を行っています。

令和4年度から市議会としても、FMスマイルウェ〜ブを活用して情報発信をしていきます。



●放送予定

8月25日 9月定例会のお知らせ
10月13日 議会報告会のお知らせ
2月9日 3月定例会のお知らせ
※放送内容は変更になる場合があります。

主な質疑

- Q** 現在運行している「高泊地区」の路線バスとの競合はどのようにされますか。
- A** 現在運行中の高泊・高畑循環線のうち、高泊地区へのバスは廃止し、高畑線だけが残ります。
- Q** バス停からの乗り降りではなく、自宅から自宅までの利用方法にすべきではないですか。
- A** あらかじめ乗降場所を固定しておけば、事前の利用登録の煩わしさがなくなります。さらに人口集積している高泊地区は送迎ルートが煩雑になるので、効率的に目的地までお連れする形を優先的に考え、乗降場所で乗降する方式にしています。
- Q** 高泊地区は住宅が密集し人口の集積する地域があります。利用者が多くて乗れない場合はどうするのですか。
- A** 住宅密集地域で利用者が多い場合は、既設のバス停を利用しつつ、予約状況に応じて臨機応変に対応し、台数が不足すれば増台します。

デジタル化推進特別委員会を設置

急速に広がるデジタル化社会に対応

デジタル化による市民サービスの向上、持続可能な行政運営及び既存業務の効率化を目指し、調査・研究・提案を行います。

ICT 活用による議会改革の推進

山陽小野田市議会基本条例に基づいた市民に開かれた議会運営、市民に迅速かつ正確に情報が伝わる議会運営、分かりやすい議論などの活性化を目指します。

委員構成

- 委員長 伊場 勇
- 副委員長 恒松 恵子
- 委員 白井健一郎
- 藤岡 修美
- 前田 浩司
- 山田 伸幸



市議会へのタブレット端末の導入を検討しています

主な導入のメリット

- 市民サービスの向上
 - ・ 正確な情報・資料を迅速に提示
(意見交換会、懇談会、報告会等で使用)
 - ・ 情報伝達精度の向上
- 議会運営、議会活動の効率化
 - ・ 利便性を生かした議会機能の強化による議会改革の推進
 - ・ 過去資料の検索機能の向上
 - ・ いつでもどこでも最新の一元化された議会内情報(資料)をクラウドサービスから閲覧が可能
 - ・ 災害現場の情報共有の高精度化
- 経費削減効果
 - ・ ペーパーレスによる用紙代等の節約
 - ・ 事務効率向上による人件費の削減



ペーパーレス会議システムの体験会を実施しました。執行部も参加し、理解を深めることができました。



「住まいは人権」という立場を

【今回の一般質問】
・市営住宅の現状と課題
・山陽地区に児童館建設を

Q 現在の老朽化した市営住宅の萩原住宅や大喜園などは草に覆われ、廃墟となっている所があり、西善寺住宅は家が傾き、今にも崩れ落ちそうになったまま放置されています。このような住居は直ちに改善すべきではないですか。

A 策定した「長寿命化計画」に沿って適切に対応し、建て替え、また用途廃止などを早い時期に実施できるように進めていきます。

入居基準を見直し若い世帯の入居を

Q 老朽化した市営住宅では、高齢者や空き家が多く、草刈りや溝掃除などが徹底されていません。衛生面や地域社会の構築の必要性から、国は収入基準の引き上げや単身者でも入居できるようにして、若い世帯が入居できるようにしています。本市もこれを活用して若い世帯の入居を促進すべきではないですか。

A 関係法令を注視し、検討します。

Q 「エアコンをつけた状態で掃除機をかけたらブレーカーが落ちた」、「電気鍋の使用時には、他の電機を使わないようにしている」と聞きました。電気容量を拡大すべきではないですか。

A 容量を増加させていくことが必要であり、入居者の意向に応じて対応していきます。



廃墟と化している萩原住宅



Q 公園通出張所を須恵地域交流センターに仮設ではなく本設とすることで、新施設の空いたスペースにもっと土日祝日に営業する店舗等が呼び込めないですか。

A 仮設や本設の話は、地域の皆さまと突っ込んだ話をしていません。

Q 新施設には山口東京理科大学の学生寮を取り入れています。まちを変える原動力の「若者、バカ者、よそ者」を生かす努力、仕組みづくりをしてはどうですか。

A 山口東京理科大学で、学長の下部組織として新学生寮による地域活性化に関する委員会を立ち上げています。

「若者、バカ者、よそ者」鍵は学生

Q LABV事業とおのだサンパークとの関係は、今後どのように考えていますか。

A LABV事業は、商工センターから半径1km圏内を対象エリアとしていて、このエリア内には大型ショッピングセンター、レノファ山口のホームグラウンド、おのだサンサッカーパーク等が存在しています。今後、新施設のチャレンジショップが、新しいビジネスチャンスの創出を後押しする場となると考えます。また、学生寮を含め、若い世代の生活圈、活動範囲が街中に拡大することで、新たな人の流れが生まれ、エリア内の経済が好循環し、地元経済の活性化が期待されます。

LABV事業への課題とその検討

【今回の一般質問】
・公立保育園環境整備
・LABV推進における課題



はせがわともじ
長谷川知司議員



人々が集う街

吉永美子議員



天文館の歴史を後世に残そう

【今回の一般質問】

- ・糸根公園の整備
- ・環境問題
- ・市民の声 など

歴史を大切に

Q 長年にわたって住民に愛されてきた天文館は、今年度末をもって閉館の予定です。歴史を残すべく、糸根公園内に資料館を設置すべきではないかと考えますがどうですか。

A 現在、都市計画課が主体となり、公園全体を一体的に整備する糸根公園整備基本計画の策定業務が動き始めたところです。新しいコンセプトの下、さまざまな意見を聞きながら、公園機能の見直しを行う中で検討していきます。

Q 議会が行う市民懇談会で出た要望に、記念碑を建ててもらえないかという声がありました。検討できますか。

A これから策定される計画の中で、記念碑設置の声があることを市長部局に伝えたいと考えています。

地域住民の思いを強く受け止めて！

Q 署名運動を起こした地域住民の切なる声をどのように受け止めていますか。

A プラネタリウムがその役目を終えることへの地域の寂しい思い、公園の再整備への強い思いを実感しました。天文館については、閉館後、皆さんの目に留まるようにさまざまな場面を活用していきたいと考えています。また、市長も教育長と同じ思いであり、市長部局は教育委員会と一緒に連携を図り、進めていきたいと思っています。



天文館での「ありがとう投影会」

厚狭川の対岸から見た厚狭小学校



早急な対策

Q 避難所になっている全ての小中学校に、各災害に対する避難可否が一目で分かる大きな看板を早急に設置する必要があると思いますがどうですか。

A 現在、国がピクトグラムを活用した標識を推奨していますので、これらも踏まえ、来年度から優先して開設をしていく避難所に積極的に取り付けを行っていきます。

Q 厚狭小は、災害対策を前提とした校舎建て替えや他の場所への移転を検討する時期に入っていると考えますがどうですか。

A 厚狭小が校舎建て替えの時期を迎えていることは承知しています。防災対策を十分に行っていく必要性もあります。また、設置場所も検討の一つに上がってくると考えております。

厚狭小・小野田小の災害対策は急務

Q 小野田小は、高潮、洪水、津波対策として学校周辺のブロック塀のかさ上げや校舎屋上に垂直避難ができるスペースを新設するなど、災害対策の検討を始めるべきだと考えますがどうですか。

A 垂直避難は各学校で想定しています。想定内の高さであれば子供たちの安全は確保できていますが、今後は子供たちに命を守る避難行動がとれるように指導をしていきます。

市内小中学校の災害対策は重要！

【今回の一般質問】

- ・空き家対策の拡充
- ・市内公立学校の災害対策



宮本政志議員



中学校の運動部活動はどうなるのか

【今回の一般質問】

- ・運動部活動の地域移行
- ・文化芸術振興ビジョン

部活動改革

Q 令和5年度に向けて、中学校の運動部活動の地域移行が検討されていますが、本市の取組状況はどうですか。

A 国の検討会議や山口県部活動改革推進協議会の状況を検討し、運動部活動の地域移行の課題について協議するため、今年3月に第1回運動部活動地域移行推進委員会を開催しました。

部活動の地域の受け皿は？

Q 運動部活動を地域に移行する際の受け皿となる団体や組織についてどのように考えていますか。

A スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブが受け皿として考えられます。また、学校を活動拠点として運動部活動を行う場合は、体育協会や各競技団体を通じて指導者を確保し、各学校へ派遣するということが考えられますが、地域全体で子供たちの多様なスポーツの体験機会を確保できるよう検討していきます。

Q 運動部活動の指導者をどのように確保、育成していきますか。

A 体育協会やスポーツ少年団を通じて指導者確保につながるアンケートの実施を行い、子供たちの指導に必要な資格を取得する場を提供し、県や国、競技団体が行う研修への参加を促すことで人材育成を図ります。



Q 山口東京理科大学薬学部建設にまつわる多くの不祥事案もあり、その都度法的にも問題があるので弁護士と相談し検証すると言われてきましたが、3月末に出された「検証報告書」は、弁護士などを入れた外部委員会で構成し作成されたものですか。

A 最終的に大学推進室等で、報告書概要案を作り、弁護士には諸事情を説明し意見を伺い、案を見ていただきました。

Q 約120億円の巨大プロジェクトの不祥事の疑義を解明できず、原因は闇の中にあり、責任を不問にした問題もあります。組織の最高責任者である市長自らが、正々堂々と議場で謝罪し、けじめをつけることが、議会も市民も検証報告書を承認したことではないですか。

A 長い時間を要し、できる限りの調査をしました。諸事案を勘案する中で事実関係全てを解明できないと結論付けた報告書になりました。

不祥事の責任を糾明できないと結論

Q 適切な工期に終えられなかった一番の諸悪の根源はどこにありますか。

A 組織がぜい弱な事情の中で、一大事業を一部の関係者だけが共有し進めていきました。最終的な責任は前執行部にあると報告書で述べています。

理科大学薬学部建設不祥事の責任は

【今回の一般質問】

- ・大学推進室の役割
- ・建設事業の説明責任
- ・ねたろう保育園記念樹移植



やたまつお
矢田松夫議員



検証報告書出る

やまだのぶゆき
山田伸幸議員



須恵公園東側にカーブミラー設置を

【今回の一般質問】

- ・硬直化した市の姿勢
- ・国民健康保険の均等割減免を
- ・L A B V 事業には住民の理解

交通安全

Q 須恵健康公園のテニスコート横を通る道路から、市道に出る三差路交差点は見通せない危険な交差点であると住民からの声が上がリ、交差点に立って調査すると多くの住民から危険性の指摘があり、カーブミラー設置を求める声が多く、これらの声をまとめて市に要望しましたが却下されました。市の見解はどうか。

A 現地を実際に確認しました。三差路の停止線からは北側が見通せませんが、少し車を進めると 40m 以上見通せるのでカーブミラーは必要ないと判断しました。

Q この道路はゆるいS字状の道路で、停止線では北側が見通せないの、横断歩道を越えるところまで進まないで見通せません。(写真×印)しかし、ここまで出ると車線の中央部になり南からの車の通行車線で危険です。また、南側の確認をしている間に北側からの車が高速で接近してきて危険ですが、速度規制についての自覚はありますか。

A この道路は車速 40km/h 制限です。

40km/h制限はどこに表示があるのか

Q 40km/h 制限という認識がなかったですが、どこに表示してありますか。

A 道路を整備した際に路面に表示しましたが、今は消えています。



須恵公園東側三差路



入札制度改善

Q 建設工事の入札制度について山口県では原則として全ての工事に総合評価方式を適用していますが、本市の状況と今後の方針はどうか。

A 平成 21 年度から特別簡易型による入札を開始し、平成 27 年度から令和 3 年度までは年間 1 本程度の土木一式工事を発注しています。今後は他の工種、業種にも総合評価方式で発注できるよう調査研究していきます。

令和 5 年度から評価項目追加

Q 特別簡易型総合評価方式において地域貢献度の評価項目は四つですが、業者に合った取組みの選択肢を増やす等の目的で、項目を増やしてはどうか。

A 項目追加の方向で検討し、今年度中に事務手続きを終えて、来年度発注分から適用していきたいと考えています。

Q プロポーザル方式の入札審査結果は、総得点以外にも公開すべきではないですか。

A ガイドラインに沿って運用しており、落選企業の利益を害する恐れがあるため総合点のみ開示していますが、他市町の状況を研究しながら、必要があればガイドラインの見直しをしていきたいと考えています。

入札制度、総合評価方式の拡大を

【今回の一般質問】

- ・建設工事の入札制度
- ・ゴルフ場を活用したまちづくり



いばいさむ
伊場勇議員



バリアフリー化の進捗状況は

【今回の一般質問】

- ・バリアフリー化の取組み
- ・公共施設での喫煙

福祉の対応

Q 不二輸送機ホール等にエレベーターが設置されていますが、視覚障害者を誘導する設備（点字ブロック等）を設置する考えはありますか。

A 現在エレベーター内に手すりや鏡の設置、操作盤に点字表示はありますが、誘導するための点字ブロックは設置していません。老朽化に伴う中長期整備計画を策定する中で、必要となるバリアフリーの概念を取り入れたと考えています。

安全対策で昇降段に手すりを設置

Q 不二輸送機ホールのステージの昇降段に手すりを設置する考えはありますか。

A 手すりがあることで、イベント内容によってお客様に支障が出るようです。しっかりと安全性が確保された取り外し可能な手すりを、今後、早急に設置したいと考えています。

Q 地域交流センターの入り口には高低差があるため、階段、スロープを設置しており、場所によっては手すりも設置していますが、設置基準はありますか。

A バリアフリー新法や県の福祉まちづくり条例施行以前の建物についても、スロープは設置されていますが、勾配等の基準の適合状況についてはさまざまであり、今後しっかりと調査を行います。



昇降段に手すりがない



Q 本市はヤングケアラー（本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子供）の実態を把握していますか。

A 実態把握のためのアンケート調査等を行ったことはありませんが、家庭児童相談を受ける中で個々の実態を拾い上げ、関係機関と情報を共有し、支援を行っています。県の実態調査の結果を踏まえながら、引き続き子供の健全育成に努めます。

Q 学校現場においてどのような支援に取り組んでいますか。

A ヤングケアラーを含めて悩みや不安を抱える子供に寄り添うことは非常に重要なことだと考えています。定期的な生活アンケート、教育相談、スクールカウンセラーの派遣や関係機関との連携など引き続き支援体制の充実に努めます。

認知度の低さが課題

Q どのようにして認知度を向上させますか。

A 子供たちと身近に接する周囲の大人が適切に認識することが早期発見、サポートにつながると思っています。子育て支援ネットワーク協議会で情報交換や研修会を行うなど啓発活動に努めます。併せて市民に対する啓発についても模索していきます。

社会全体で支える仕組みづくりを

【今回の一般質問】

- ・ヤングケアラー支援
- ・公共施設の Wi-Fi 整備
- ・給付金等の送金事務 ほか



まつおかずのり
松尾数則議員



中山間地域に持続可能な農業を

【今回の一般質問】
・中山間地域政策の課題
・森林の公益的機能



議会中継ページを
チェック

新たな中山間

Q 農林水産省提案の農村RMOについて、市の取組みはありますか。

A 農村RMO形成推進事業が実施されることは認識しています。当事業は、農業を核とする地域運営組織ですが、地域課題の解決に向けた地域運営組織RMOの取組みは既に着手しています。市が進める組織づくりの一つの手法として農村RMOは、地域の課題や意見に取り組み、地域の組織形態の最適化を関係部署や地元関係者と連携を図り進めていきたいと考えます。

Q 6次産業化による農業の生産構造の改革についてどう考えますか。

A 6次産業化農商工連携応援事業を創設し、今年度は6次産業化に興味のある方に、専門家による講習会の開催、さらに、個別講習を行う予定です。多様な関係者の参画による農林水産業従事者の所得の向上を図り、農林水産業の発展を目指します。

小さな拠点のこれから

Q 小さな拠点づくりの進捗度はどうですか。

A 厚狭北部の川上地区が小さな拠点として認定掲載されています。令和2年度から専門家の招へい、地区内のアンケートを実施し、課題や要望等を整理し、山口東京理科大学との連携によるデジタル対応の活用方法等の検討を進めていきたいと考えます。



教育行政

Q 今春のコロナ感染者増加時、学校運営は大きく影響を受けたと思われませんが、どのように対応されましたか。

A 教育委員会としては、市内の児童生徒の感染状況を注視しながら各学校長と緊密に連絡を取り合い、子供たちの学びが止まらないよう各学校に合わせた支援を行っています。

Q 子供たちのマスクについては、どのような方針で行っていますか。またマスクが与える影響について教育委員会はどのように考えていますか。

A 熱中症に配慮しながら、国の指針に準じた対応を取っています。マスクによってコミュニケーションを取る不便さは感じていますが、教師はプロですので、上手く意思疎通を図りながら子供たちと信頼関係を築いてくれています。

コロナ休みの児童生徒に配慮を！

Q コロナ感染で休んだ児童生徒に十分な配慮をしていますか。

A タブレットを活用して学級活動を行うとともに担任とオンラインで対話の機会を設けています。また、いじめにつながらないように通知を出すとともに不安を軽減するために心の支援室の指導員を派遣したりしました。どの学校においても実施できるよう環境整備に努めています。

コロナでも学びを止めない学校生活

【今回の一般質問】
・本市の教育行政の取り組み
・JRの利用促進

つねまつけいこ
恒松恵子議員



市議会モニターが決定しました！

市議会モニター委嘱状交付式 & 説明会

7月1日から任期が始まった市議会モニター(15人)の委嘱状交付式と説明会を開催しました。これから市議会モニターの皆さんに市議会を見ていただき、意見交換会で市議会の活動や運営に関する意見を頂きたいと思ひます。

3年間、よろしくお祈ひします。

市議会モニター制度について詳しくは市議会ホームページをご覧ください▶



議長が一人一人委嘱状を交付

新しいモニターの皆さんを紹介します！

- 公募(敬称略)
- 団体推薦(敬称略)
- ・井本 和幸
- ・石川 和幸《市PTA連合会》
- ・上野 正昭
- ・木林 智信《小野田青年会議所》
- ・草田 和枝
- ・目 和子《市女性団体連絡協議会》
- ・下瀬 俊夫
- ・比嘉 朝康《市文化協会》
- ・月村 敏章
- ・藤村 幸正《山陽商工会議所》
- ・中川 正治
- ・藤本 典彦《小野田商工会議所》
- ・樋口 晋也
- ・山本沙也香
- ・吉野 信子

●任期

令和4年7月1日から令和7年6月30日まで



市議会モニター説明会

議会報告動画を配信しています！

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年3月の議会報告会から開催を中止せざるを得ない状況が続いています。議会が説明責任を果たすため、どのようにすればよいか検討してきた結果、議会報告会の代替措置として、令和4年3月定例会から報告動画を作成し、放映することになりました。

6月議会報告会もYouTubeで配信しますので、ぜひご覧ください。YouTubeの市議会チャンネルはQRコードを読み取ることで、移動できます。また、市議会ホームページの議会報告会からもご覧いただけます。



6月議会報告動画

6月議会報告動画▶



議会報告会について詳しくは市議会ホームページをご覧ください▶



意見書 1 件を可決

議員発議による意見書 1 件を全会一致で可決し、下記表題の意見書を市に提出することになりました。

◎西部石油株式会社山口製油所、関連会社及び協力会社等の従業員の雇用確保に関する意見書

早急に情報収集に努められ、従業員の雇用確保に関し必要な対策を講じられるよう強く要望する。(一部抜粋)

◎賛否の分かれた議案の議決結果



←全議案の審議結果は、ホームページに掲載しています。

6 月定例会	議決結果	議員名																						
		伊場 勇	大井 淳一朗	岡山 明	奥 良秀	笹木 慶之	白井 健一郎	恒松 恵子	中岡 英二	中島 好子	中村 博行	長谷川 知司	福田 勝政	藤岡 修美	古 豊和	前田 浩司	松尾 数則	宮本 政志	森山 喜久	矢田 松夫	山田 伸幸	吉永 美子	高松 秀樹	
「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公費助成制度の創設を求める」請願書	趣旨採択	○	○	○	○	○	※	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	※	○	○

○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席 ※：趣旨採択に反対
高松秀樹議員は議長であるため賛否の結果はありません。

お知らせ

9 月定例会会期日程 (予定)

本会議の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
9 月 2 日(金)	議案上程・説明
9 月 9 日(金)	一般質問
9 月 12 日(月)	一般質問
9 月 13 日(火)	一般質問
9 月 14 日(水)	一般質問
9 月 15 日(木)	一般質問
9 月 27 日(火)	質疑・討論・採決

編集室より



早々に梅雨が明け暑さ厳しい折、節電と熱中症予防の両立が求められています。新型コロナウイルスの感染予防対策として、①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いや3密（密集、密接、密閉）を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。マスク着用により熱中症のリスクが高まります。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク・換気などの「感染予防対策」を両立させていきましょう。

◎広報特別委員会

委員長 森山 喜久 副委員長 福田 勝政
委員 大井 淳一朗 委員 奥 良秀
委員 笹木 慶之 委員 中岡 英二
委員 宮本 政志



《表紙の説明》水、プシャー！という勢いとともに空に飛び立つペットボトルロケット。飛ぶかな？どうかな？と不安に思いながら、飛んでいく様に喜び子供たち。今年も夏休み工作体験でペットボトルロケットが作られています。